

二人のプロフェッショナルに聞く

本と本屋と 図書館の 未来予想図

参加
無料

2019. 3. 9 [sat] 18:30-20:00

at はつかいち市民図書館



清政 光博（せいまさ みつひろ）
本とうつわの店 READAN DEAT 店主。
リトルプレスや写真集、暮らしやデザインにまつわる本と民藝や作家の器も扱う。

庭園の宿 石亭
上野純一

GUEST

×

READAN DEAT
清政光博



上野 純一（うえの じゅんいち）
庭園の宿 石亭、あなごめし うえの代表。
自身にとって本は「なくてはならないもの」。休日は海で読書をして過ごすことも。

HOST ライター / イソナガアキコ

上野純一氏と清政光博氏。活躍するフィールドも年齢も違う二人を繋ぐもの、それは“本”。本と本のある場所をこよなく愛する二人のプロフェッショナルが思い描く本屋と図書館の未来予想図とは？「街の本屋はなくなってしまうのか！？」「人は本に何を求めるのか？」など本を取り巻く環境の今と未来について二人に熱く語っていただきます。

○アルコール以外の飲み物の持ち込みを可とします。蓋付きの入れ物でご持参ください。
○庭園の宿石亭と READAN DEAT が掲載された『全国・旅をしてでも行きたい街の本屋さん（イソナガ アキコ共著）』の販売、希望者にサインをいたします。

日時 / 2019年3月9日（土）18時30分から20時まで（開場18時20分）

場所 / はつかいち市民図書館 738-0023 広島県廿日市市下平良1-11-1

アクセス / 広島電鉄・廿日市市役所前駅から徒歩約8分 駐車場あり 定員 / 30名 ※先着順

申込 / 電話（0829-20-0333）または図書館カウンターへ直接お申し込みください。（3月1日9時から受付開始）

主催 / はつかいち市民図書館 共催 / しごと共創センター 協力 / あいだ project

